

1 単元名 買い物をしよう

2 題材の目標

- 買い物の仕方やお金の支払い方が分かるようにする。(知識及び技能)
- 品物を選び、支払い方法や等価関係について理解できるようにする。(思考力、判断力、表現力等)
- 買い物の楽しさを味わい、日常生活においても進んで活用しようとする態度を養うことができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
・目的に合った品物を選択し、買い物の仕方やお金の払い方を理解している。	・お金の種類や数え方に慣れ親しみ、お金の計算方法や等価関係について理解を深めている。	・買い物の楽しさを味わい、買い物ごっこで身に付けたスキルを日常生活に生かそうとしている。

4 指導にあたって

本単元では、周囲の人とのやり取りを広げ、買い物の仕方を身に付けることをねらいとしている。

本学級は、3名の児童が在籍し、国語、算数、社会、生活単元、自立活動などを支援学級で学習している。集団適応やコミュニケーションが課題の児童など状況が様々で、学習面や生活面においても個人差が大きい学級である。また、将来、自立的な生活を営んで行く上で必要な生活経験も乏しい。

氏名	児童の実態	単元における個別指導目標
A児	・買い物経験が少なく金種も理解していない。自分で支払ったこともない。 ・授業では、進んで号令をかけることができる。	・買い物に興味・関心をもち、意欲的に活動に取り組むことができる。
B児	・買い物の経験が少なく、金種の理解も正確ではない。自分で支払ったことがない。 ・算数科のたし算やひき算の筆算は正確にできる。	・友達に支払いの仕方を教えるなど楽しく活動に取り組むことができる。 ・金種を理解し、支払い方に工夫ができる。
C児	・買い物に興味をもち始め、金種の理解はできないが、お金以外の支払い方法を知っている。 ・発音が不明瞭で、伝わらないと会話を諦める。	・買い物やお金の学習に興味をもち、楽しく買い物することができる。 ・商品名や金額を声に出すことができる。

本単元で扱う買い物学習では、算数科で発達段階に応じた内容で取り扱われており、社会科では、「店ではたらく人びとの仕事」でスーパーマーケットの工夫を調べ買い物について考えを深める内容になっている。また、コミュニケーション能力、安全やマナー等の社会性、金銭についての理解など様々な要素をもっており、児童の生活にとって身近で関心の高い単元である。しかし、本学級の児童達は、今まで一人で買い物に行った経験が少なく、お金の価値やその仕組みについては、十分理解できていない。そこで、買い物を想定とした場面設定をすることで楽しく学習したり、模擬貨幣や商品を手にする事で数量的な感覚をより実感したりできると考え、本活動を設定した。

指導にあたっては、学習に対する興味・関心をもたせるために、模擬貨幣を使って学習を行うようにしたり、買い物ゲームを通して買い物の体験を行ったりする。児童の今後の生活を見据え、学習したことが生活の場面でも活用できるように、学習最後には買い物に行く活動を取り入れる。指定された金額を払ったり、持っているお金で買えるものを探したりすることができるようにするなど実際に体験させ、学習が定着するように支援していきたい。また、買い物の場面に必要な会話のやり取りをしながらコミュニケーション力も身に付けさせたい。

5 指導・評価計画（6時間扱い ○は本時）

時	主な学習内容・活動	観点	評価規準（評価の手順）
1 ②	買い物について知ろう。 ・買い物について関心をもつ。 ・お金（硬貨や紙幣）の違いや、それらを使	知技	・物には価値があり、物を購入する時にはお金が必要なことに気付き、購入したい物の金額の違いを理解している。（発言・観察）

	った支払いの方法を知る。		
3 4	買い物に必要なスキルを身に付けよう。 ・順番やルールを理解し、参加することができる。 ・お金や買い物に対する理解度の違う児童との関わりを楽しむ。	知技	・買い物に必要なスキルを身に付けている。 (発言・観察)
5	買い物ゲームをしよう。 ・買い物ゲームをする。	思考	・買い物の仕方が分かり、他の児童と関わりをもちながら、買い物ゲームをすることができる。 (ワークシート・発言・観察)
6	お店に行こう。 ・買い物に行き、クリスマスパーティーに必要な品物を買う。	主体 思考	・買い物の仕方が分かり、必要な物を予算内で買うことができる。 (観察)

6 本時の指導

(1) 目標

○ミニゲームを通して、5円や50円使った支払いができる。

(知識及び技能)

氏名	学年	個別の目標
A児	*年	・5円や50円の金種を理解し、支払いすることができる。
B児	*年	・できるだけ少ない枚数で支払いの工夫を考えることができる。
C児	*年	・金種を考えながら支払いを考えることができる。

(2) 準備・資料

商品カード (96円、157円、198円の商品カード24枚)、模造硬貨、金種別シート、レジカウンター
レジスター

(3) 展開

学習活動・内容 (時間)	指導上の注意点・評価			
	全体	A児	B児	(評) 評価 C児
1 始まりの挨拶をする。 ・A児が号令をかける。	・声を出して挨拶し、学習への切り替えをさせる。	・進んで号令をかけ、挨拶ができたことを称賛する。	・声を出して挨拶をさせ、学習への気持ちの切り替えを促す。	・声に出して、積極的に学習に取り組めるようにする。
2 ウォーミングアップを行う。 ・机を合わせる。 ・わしづかみした硬貨の合計金額を調べる。	・金種の確認をする。 ・どのように考えるか時間を設定する。 ・10のまとまりの数え方の説明をする。 ・本時の学習につなげるようにする。	・金種を確認し、金種毎に分けるように言葉をかける。 ・合計金額声に出してはっきり言うように促す。	・金種を調べ、どのように調べたらよいか考えるように促す。 ・合計金額を声に出して言うように促す。	・全部でいくらになるか、予想をしてみるように声かけをする。 ・合計金額を声に出してはっきり言うように促す。
3 本時の学習活動と課題を確認し準備をする。	・黒板に課題を書き、内容を確認する。 ・ゲームの準備をしながら、ゲームの仕方を説明する。	・ゲームの準備を見ながら、買い物ゲームに興味をもつようにする。 ・商品や金額を声に出して言うように促す。	・ゲームの準備の手伝いを依頼し、買い物のイメージをつかませる。 ・レジカウンターの所定の位置に商品とお金を置くように声をかける。	・ゲームの準備を見ながら、買い物の会話を考えるように促す。 ・商品や金額を声に出して言うように促す。
5円と50円玉を使って買い物をしよう。				
4 ゲームをする。 (1)商品カード24枚を山札とする。 (2)じゃんけんで順番を決める。 (3)カードをめくりレジカウンター	・互いの活動が見えるようにし、分からない時は教えられるように机を合わせる。 ・教師(店員)や	・金種を声に出しながら一緒に選ぶようにする。 ・分からない時は、友達に聞くように促す。 (評) 5円や50円	・買い物の会話を楽しくするように促す。 ・友達の支払いにヒントを出すように声をかける。 (評) 少ない枚数で	・お釣りが無いようにすることを確認する。 ・買い物のコミュニケーションをとるようにする。 (評) 金種を考え支

にカードと代金を置く。 (4)交代する。	友達に相談してもよいことを約束する。	を使って支払いをすることができている。(発言・観察) ・声の物差しを意識して発表できるように助言する。	支払うことができない。 (発言・観察) ・聞き手に向かって話せるように助言する。	払うことができない。 (発言・観察) ・はっきりと話すことができるように、ゆっくり話すように伝える。
5 本時の活動を振り返る。	・各自がんばったことを振り返れるよう、よかった点を称賛する。	・黒板係として黒板をきれいにするように声をかける。	・ゲームの片付けを進んで取り組むように声をかける。	・友達と協力するように伝える。
6 片付ける。	・席の周りも確認し、所定の位置に戻すようにする。	・号令を促し、元気にできたら称賛する。	・切り替えて、姿勢を正し、挨拶するように促す。	・元気に挨拶し、忘れ物が無いように声をかける。
7 終わりの挨拶をする。 ・A児が号令をかける。	・机の位置を直し、姿勢よく元気に挨拶するように伝える。			